

平成21年8月10日

各 位

上場会社名	三井海洋開発株式会社
代表者	代表取締役会長 山田 健司
(コード番号)	6269)
問合せ先責任者	経営企画室長 高野 育浩
(TEL)	03-6203-0200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月23日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	200	800	600	16.04
今回発表予想(B)	96,000	500	2,800	1,800	48.12
増減額(B-A)	46,000	300	2,000	1,200	
増減率(%)	92.0	150.0	250.0	200.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年12月期第2四半期)	64,110	1,644	2,697	1,434	38.35

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、当初予想を46,000百万円上回る96,000百万円となる見込みです。これは、ブラジル並びに西アフリカ海域向けの大型FPSO建造工事が前倒しに進んでいることにより、工事進行基準で計上する海外子会社の売上高が増加していること等によるものです。

利益面につきましては、売上高の増加等により、連結営業利益が当初予想を300百万円上回る500百万円となる見込みです。また、欧州通貨の為替レートが前年度末に比べて対米ドルで上昇していることから、一時的に海外子会社の外貨預金口座に滞留している建造工事代金に関わる為替評価益を計上すること等により、連結経常利益が当初予想を2,000百万円上回る2,800百万円、第2四半期連結累計期間純利益は当初予想を1,200百万円上回る1,800百万円となる見込みです。

通期の業績予想につきましては、上述のとおり第2四半期連結累計期間での増益要因が工事の進捗状況による計上時期のずれや為替レートの変動等による一時的な変動であり、通期業績に影響を与えるものではないこと、並びに今後の工事の進捗及び新たなプロジェクトの受注等不確定な要素が多いことから、現時点での変更は行っておりません。

以 上